

アボリジニ社会は伝統的には衣類を着用しなかったが、現在はほとんどの人が服を着て暮らしている。しかし、儀式によっては全裸になることがある。当然僕も全裸で参加する。

若者たちからかわれながら、体に赤色土や白色土

アボリジニ社会は伝統的には衣類を着用しなかったが、現在はほとんどの人が服を着て暮らしている。しかし、儀式によっては全裸になることがある。当然僕も全裸で参加する。

若者たちからかわれながら、体に赤色土や白色土

アボリジニ社会は伝統的には衣類を着用しなかったが、現在はほとんどの人が服を着て暮らしている。しかし、儀式によっては全裸になることがある。当然僕も全裸で参加する。

若者たちからかわれながら、体に赤色土や白色土



アボリジニ社会は伝統的には衣類を着用しなかったが、現在はほとんどの人が服を着て暮らしている。しかし、儀式によっては全裸になることがある。当然僕も全裸で参加する。

若者たちからかわれながら、体に赤色土や白色土

アボリジニ社会は伝統的には衣類を着用しなかったが、現在はほとんどの人が服を着て暮らしている。しかし、儀式によっては全裸になることがある。当然僕も全裸で参加する。

若者たちからかわれながら、体に赤色土や白色土

アボリジニ社会は伝統的には衣類を着用しなかったが、現在はほとんどの人が服を着て暮らしている。しかし、儀式によっては全裸になることがある。当然僕も全裸で参加する。

若者たちからかわれながら、体に赤色土や白色土

儀式に加わる ①

世界や宇宙への責任自覚

翌日に、少年たちは長老から世界の成り立ちについて最初の教えを受ける



踊る女性たち(後方)と歌う男性たち

その日の夜は、一晚中男たちが歌い続け、女たちが踊り続けるお祭り騒ぎとなる。村人全員が参加して少年たちの大人への船出

ことになる。その具体的な内容を公表することは許されていない。重要なのは、かれらが分け入る世界の広がり、受けとる責任

とは、たんに社会的責任を果たす大人になるというだけではない。世界は存立を支える神に自分をかかわらせてゆくことを意味する。

近代的で合理的な人間は、そんな怪しげな感性などなくても、面白おかしく人生を歩むことができるのか。宗教性が取り返しのつかないほどに廃れた時代に、僕たちはいかにして、静かに充足した奥深い生を歩むことができるのだろうか。これは、現代社会が抱える大きな課題であるように思う。

日本でも成人式はある。成人を迎えると、大人として社会的責任を果たすことが期待される。だが、「世

で、家族や世間との日常生活だけに埋没しきれない切実さをもっている。宗教が形骸化し、そうでなければカルト化してしまう現在の

いつの日か、僕に子供ができて、その子がお墓参りの最中に、「これは生きている人間の自己満足だ」と言ったら、僕はどう答えるだろう。「確かにそうかもしれない。でも、本当にそれだけなんだろうかね」。そんなふうに話して、わが子をオーストラリアの大地に連れ出そう。

(歴史学者―新潟市出身)